

保健だより 11月

高浦中学校
保健室
11月号
2022.11. 8

11月になりました。秋を通り越して冬を感じるような寒い日もありますね。一回下火になった新型コロナウイルス感染が、また増え始めているようです。寒くなってくると換気がおろそかになりやすいです。予防対策は人任せでなく、自分が気をつける意識を持ってほしいと思います。

3年生はいよいよ進学に向けて、取り組む季節です。2年生は修学旅行、1年生ははじめての強歩大会やai&imo販売といった行事があります。体調や生活リズムを整えて、ベストコンディションで取り組みましょう。



みなさんにご紹介



10月のほけんだよりで、『13歳からの「ネットのルール」～誰も傷つけないためのスマホリテラシーを身につける本～』から、「ネットモラル」=「日常のモラル」ですよ、という話を紹介しました。今回はその2回目、中学時代のみなさんに知らせたいなと思ったこと、その2です。ネットを現実^{ゆうつ}に置き換えるセンスを持って、送信ボタンを押すかどうか見直してほしいなと思います。



その2 「渋谷のスクランブル交差点でこんなことできる？」

「渋谷スクランブル交差点」がどこかわかりますか？

10月31日、ハロウィンの日に仮装をした若者たちが集まってきた場所です。その最寄り駅となる渋谷駅の北西に、1回の青信号で1000人以上が行き交うため「世界で最も混雑している交差点」といわれている場所です。

★「ネット」を現実^{ゆうつ}に置き換えてみて
想像してみましょう。



ここは東京のど真ん中、渋谷のスクランブル交差点。あなたはスケッチブックくらい大きさのボードに「プライベートな気持ち」「友達への不満」「やらかした悪事」……こういったものを太いマジックで書いて、交差点のど真ん中、一番目立つ場所で30分くらい、掲げていることができるでしょうか？ ぜひやりたいなんて人はいるのでしょうか？ これがネットを現実^{ゆうつ}に置き換えるということです。

★実は誰もがやっている

ネットや SNS に何かを投稿することは、まさにこの交差点での行為そのものなのです。いや、交差点のど真ん中でボードを掲げても、そこにいる人、何万人が見る程度。しかもそのボードは自分で下ろすことができますよね。でもネットの世界は違います。一度掲げたら二度と下ろせないボードを、全世界に向けて永遠に見せ続ける。これがネットに投稿するということなのです。

この交差点にいる誰もが「ラーメンがうまい！」「天気がいいなあ」「月曜日が憂鬱」。そんな普通の内容のボードを掲げて立っている、これがネットの世界です。みんながやっていることなのです。

★今まで大丈夫だったから

ではそこに、「友達への不満」「やらかした悪事」など……過激な言葉や問題のある内容のボード(投稿)を掲げたら、どうなるでしょう？ 今まで大丈夫だったからは通用しません。この時に想像力を働かせて、そのまま送信ボタンを押すのかどうか考えてみましょう。

